

## 10 用語集（あいうえお順）

### あ

- ◆ ICチップ等：図書館で本を管理する上で必要な情報（データ）をICチップ（タグ）に保存して本に貼附するもの。
- ◆ ICT教育環境：ICTとはInformation and Communications Technologyの略でITとほぼ同義の意味を持つ。小・中学校等における教育用及び校務用のパソコン、電子黒板等の設備
- ◆ IT教育：ITとはInformation Technologyの略。パソコン等のIT（情報技術）の利用・活用方法を教育の一環として取り入れた教育、または、ITを駆使した教育
- ◆ ITロボット：農作業の自動化や無人化等、農業生産の効率化が可能となるITやロボット機能を利用した先進的農作業機械等
- ◆ 空き店舗家賃補助：中心市街地の空き店舗における新規起業等に対し、最長12ヶ月間、家賃の一部を補助する制度
- ◆ アクションプラン：自治基本条例を推進するための具体的な計画内容
- ◆ 網走地方教育研修センター：オホーツク総合振興局管内の市町村が共同して行う教職員の研修並びに研修に関する調査研究を実施する機関
- ◆ アンテナショップ：企業や地方自治体が、売れ行きの動向を探るために新製品や地場産品などを直営する店

### い

- ◆ 一斉除雪：積雪状況によって、町内全域を一斉に除雪を行うこと。
- ◆ 一般農作物原・採種圃：一般栽培用の種子を採るための畑
- ◆ 一般病床：主に病気やケガなど、急性疾患の患者を対象とする病床（ベッド）
- ◆ 稲美工業用地：美幌町稲美地区に工業等の用地として指定している地域
- ◆ 医療ソーシャルワーカー：保健医療機関において、社会福祉の立場から患者やその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行う職種
- ◆ インターンシップ：学生が在学中に自らの学習内容や将来の進路などに関連した就業体験を行うこと。

### え

- ◆ 英語指導助手（ALT）：Assistant Language Teacherの略。日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える英語を母語とする外国人を指す。
- ◆ AED：「自動体外式除細動器」のことで、電気ショックを与えて心臓の動きを正常に回復させる装置
- ◆ エコファーマー：「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」を都道府県知事に提出し、計画の認定を受けた農業者の愛称
- ◆ SNS：Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略で、FacebookやLINEなど、社会的なつながりをインターネット上などで持つことができるサービス
- ◆ SOSネットワーク事業：認知症により徘徊のおそれのある認知症高齢者等が行方不明になった場合に、地域の支援を得て早期に発見・保護できるよう、関係機関や町民と支援体制を構築し、認知症高齢者等の安全と家族等への支援を図ることを目的とする事業
- ◆ FSC®森林認証：FSC®（Forest Stewardship Council）森林管理協議会が適正な森林管理が行われていることを一定の基準によって審査・認証すること。
- ◆ MRI：磁気共鳴画像診断装置の略で、磁気の利用して体の臓器や血管を撮影する医療機器

### お

- ◆ 応急援護資金：美幌町社協が行う事業で、地域の住民に対し、生活費等緊急に資金が必要な場合に貸付を行う資金
- ◆ オホーツク・スポーツ合宿誘致に係る地域連絡協議会：オホーツク地域が、スポーツ合宿の先進地域として、連携してスポーツ合宿誘致を促進し、スポーツを通じて地域の活性化を図ることを目的に設立された地域協議会。事務局はオホーツク総合振興局。
- ◆ オホーツク圏地域食品加工技術センター：オホーツク圏域で生産された農水産物資源を活用した食品工業の振興、加工技術の向上を図る北海道立の公益財団法人
- ◆ おもしろ科学の祭典：町民約60名による実行委員会が主催する科学実験の大会。「科学」を通して子どもと大人がふれあい、自然科学の素晴らしさや不思議さ、楽しさを体験できる。
- ◆ 親子ふれあい農園：親子での作物栽培と収穫物の加工実習による作業体験を通し、自然の恵みにふれあう体験農園
- ◆ 温室効果ガス：大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体の総称。近年、大気中の濃度を増しているものもあり、地球温暖化の主な原因とされている。

### か

- ◆ 介護保険事業計画：介護保険サービス費用などの見込量を定めたもので、3年に1度、介護保険法に基づいて策定される計画
- ◆ 介護予防ケアプラン：要支援者に対して、目標とする生活のイメージについて記載し、実現するための目標を設定、その実現のため必要とされる支援方法、支援メニューを作成するもの。
- ◆ 介護予防事業：主に65歳以上の高齢者を対象とする訪問型サービス、通所型サービス等の介護予防・生活支援サービス事業と介護予防教室や健康教室等通いの場づくりを推進する一般介護予防事業で構成される。
- ◆ 介護予防マネジメント体制：要支援者に対して、本人・家族との話し合い等をもとに、現状の生活行為に関する評価・分析を行い「本人がどんな生活を送りたいか」についてあらゆる角度からその支援方法等を考える体制

- ◆ 外部講師：ある分野の知識や経験、技術の豊富な人や、子どもたちとは違った文化背景を持つ人を指す。
- ◆ 開放型病床（オープンベッド）：病床の一部を開放し、入院患者の日常の「かかりつけ医」である診療所の医師と入院中の担当医と情報を共有し、協力して治療を行うことができる病床
- ◆ 学習指導要領：それぞれの学校で行われる教科の指導内容について、文部科学省が詳細に定めている基準
- ◆ 学童保育所は町内に3箇所：美幌、東陽、旭の各学童保育所
- ◆ 家族経営協定：家族での農業経営にたずさわる各世帯員が、経営方針や役割分担などについて、家族間の話し合いにより取り決めること。
- ◆ 過疎対策事業債：過疎地域自立促進市町村計画に基づいて行う事業の財源として、特別に発行が認められた地方債（市町村の借金）
- ◆ 過疎地域自立促進市町村計画：人口減少等に伴い過疎地域に指定された市町村が、地域資源を活用して地域の自立促進を図るために必要な事業を定めた計画
- ◆ 過疎法：過疎地域の人口減少に歯止めをかけるため必要な措置を講じ、地域の自立促進を図ることを目的とした法律。過疎地域自立促進特別措置法の略称
- ◆ 家畜伝染病自衛防疫組合：家畜の伝染病の発生を予防するため、町および町内の家畜飼養者による組織
- ◆ 家畜防疫衛生対策：家畜の伝染病予防のための衛生管理や、発生時に病気の拡大を防ぐための対策
- ◆ 学校評議員：学校運営に関して、学外の保護者や地域住民などの多様な意見を幅広く校長が聞くことで、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進する制度
- ◆ 合併処理浄化槽：し尿と生活雑排水（台所、風呂、洗濯等に使用した水）を戸別にまとめて処理する浄化槽
- ◆ 釜場：内水排除用に樋門付近に設置された水中ポンプの設置箇所
- ◆ 環境共生：河川、湖沼、海岸、里山など多様な自然環境と都市化の進展等によって失われつつある自然環境を次世代に継承するため、自然と人間の調和を図ること
- ◆ 環境緑地保護地区：北海道が条例に基づき、市町村の市街地及びその周辺地のうち、環境緑地として維持又は造成することが必要として指定した地区

## き

- ◆ 起業家支援事業：中心市街地をはじめとした地域の活性化及び雇用の創出の推進を図ることを目的に、本町において平成27年度に創設された補助制度。起業・創業する方に開業に要する経費の一部を助成
- ◆ 脆弱性：コンピュータのOSやソフトウェアにおいて、プログラムの不具合や設計上のミスが原因となって生じる情報セキュリティ上の欠陥
- ◆ 季節・へき地保育所4箇所：季節保育所は中央保育所。へき地保育所は上美幌、福住及び田中の各保育所
- ◆ 季節労働者通年雇用促進支援事業：地域の創意工夫により季節労働者を支援し、季節労働者の通年雇用化を促進することを目的とした厚生労働省の委託事業のこと。
- ◆ 既存水利権：水利権とは、特定の目的（水力発電、かんがい、水道等）のために、その目的を達成するのに必要な限度において、流水を排他的・継続的に河川の流水を占有する権利で、既存水利権とは現在取得している水利権
- ◆ 機動旅団：離島への攻撃に実効的かつ機動的に対処する部隊。25大綱で新たに定められた。
- ◆ キャリア教育：社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度、意欲を形成・向上させるための教育
- ◆ 「きょういく」「きょうよう」：「今日、行くところがある」と「今日、用がある」の意
- ◆ 教育資源リスト：町内の文化・芸術、スポーツのほか、さまざまな分野におけるボランティア活動に協力可能な方々の人材リスト
- ◆ 行政改革：行政組織の効率化と経費削減を目的とした取組
- ◆ 行政改革大綱：行政改革の基本方針や推進項目を定めて、ほぼ10年毎に見直し策定
- ◆ 行政評価（事中評価・事後評価）：行政の事業目的を明確にし、実施成果を客観的に評価して、現状認識と課題改善につなげるもの。
- ◆ 橋梁長寿命化計画：地方公共団体ごとに策定する橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減に関する事項を定めた計画
- ◆ 緊急通報装置：自宅の電話器と一緒に設置される装置で、緊急事態がおこったときは、ボタンを押すだけで消防署へ通報でき、また煙などを感知した場合は自動で消防署に通報される装置
- ◆ 緊急輸送道路計画：緊急輸送路とも呼ばれ、地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と知事等が指定する防災拠点と相互に連絡する道路の計画

## く

- ◆ 国の河川整備計画：国の河川整備基本方針に基づき、地方公共団体や地域住民の意見を反映し、概ね20～30年の間に実施する河川工事と河川の維持の両面にわたる河川の整備計画
- ◆ クラウド化：自らのコンピュータ内で管理運用してきた情報システムを、インターネット等を通じて外部の事業者が管理するサービスを利用する形にすること。
- ◆ 暮らし安全まちづくり条例：災害、犯罪及び事故から町民の安心と安全を確保する基本理念を定め、責務を明記
- ◆ グランドデザイン：長期にわたって遂行される市街地や農村の景観の形成
- ◆ クリーン農業：たい肥などの有機物を使った土づくりや、化学肥料や化学合成農薬の使用を減らした環境にやさしい農業
- ◆ グループホーム：身体・知的・精神障がい者等が世話人の支援を受けながら、地域のアパート、一戸建て等で生活する居住の場
- ◆ 車座トーク：町長が自治会や団体等の集まりにおじゃまして、意見交換を行う。

## け

- ◆ ケアプラン：介護保険制度で要介護認定を受けた場合、本人の希望や必要性と利用限度額や回数に基づいて作成される介護サービスの計画
- ◆ 経営継承方式：後継者不在の農家が家族以外の第三者に対して、農地・農機具等の資産を受け渡して経営継承を行う方式
- ◆ 景観行政団体：景観法により定義される景観行政を司る行政機構。景観行政団体は、景観法に基づいた項目に該当する区域に景観計画を定めることができる。景観計画区域に指定された区域では、建築や建設など景観にかかわる開発を行う場合に、設計や施工方法などを景観行政団体に届け出るなどの義務が生じる。
- ◆ 下水道ストック：下水道の終末処理場施設及び下水道管路
- ◆ 権限移譲：国や都道府県の権限を市町村に移し、移譲先の市町村で事務処理ができるようにすること。地域住民の意向を反映した意思決定や地域の特色を活かした行政の展開が可能となる。
- ◆ 健康運動指導士：保健福祉総合センターにおいて、町民の健康を維持・改善するために、安全かつ適切な運動プログラムを提案・指導する専門家
- ◆ 健康教育：健康の保持増進を目的に、個人や集団を対象に健康知識の普及や実践を推進する活動
- ◆ 権利擁護事業：認知症高齢者など判断能力が不十分な為、日常生活に困っている方に対して、安心して自立した生活が送れるように、金銭管理や重要な契約などの福祉サービス等の利用援助を行う事業

## こ

- ◆ 広域観光協議会：観光振興を目的に、広域にわたる自治体等の集まりにより組織された協議会のこと。美幌町では「阿寒国立公園広域観光協議会」、「美幌地区3町広域観光協議会」に加盟して広域観光の推進を図っている。
- ◆ 公園長寿化計画：公園施設を長期的かつ継続的に使用するため、遊具などの更新や、安全性や機能性を確保するための維持管理を計画的に実施するための計画
- ◆ 公園引当：「北海道の開発行為指定基準」により、民間事業者が市街地で3,000㎡以上の宅地造成等を行なう際、面積の3%を公園用地として地方自治体に寄附しなければならないことと規定されている。
- ◆ 高規格幹線道路：「高速自動車国道」および「一般国道の自動車専用道路」で自動車が高速で走れる構造で造られた自動車専用道路
- ◆ 高規格救急車：救急救命士による高度な処置が行える資機材を積載している救急車
- ◆ 後期高齢者医療：75歳以上の高齢者に対する医療のこと。65歳以上の障がい者も後期高齢者医療の対象となることことができる。
- ◆ 公共交通活性化協議会：地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条に規定する協議会（法定協議会）
- ◆ 公共施設等総合管理計画：公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿化などを定めた計画
- ◆ 公共用水域：水質汚濁防止法によって定められる、公共利用のための水域や水路のことをいう。下水を処理する終末処理場を有する下水道は、公共用水域に含まれない。
- ◆ 高収益型新規作物：市場価値が高い作物や、その作物があまり出回らない時期に出荷が可能な、地域において新たに導入される作物
- ◆ 高度医療機器：放射線、磁気、超音波などの先端技術を導入した検査や治療のための医療機器
- ◆ 高齢者学級（明和大学）：高齢者が自ら学び活動する生涯学習の場。対象は原則65歳以上の町民で修学期間3年（卒業後、3年間の研修生制度がある）。学習は隔週水曜日に実施
- ◆ 高齢者虐待防止ネットワーク会議：虐待の早期発見や、発見時の円滑な対応について、また虐待防止のネットワークを構築すべく、行政や警察、福祉団体などの関係機関により構成する会議
- ◆ 高齢者保健福祉計画：高齢者福祉サービスの内容など、高齢者福祉事業全般にわたり必要な事項について老人福祉法に基づいて策定される計画
- ◆ 高齢者自らも含めた資源開発：高齢者を支える地域のボランティアなどの資源だけでなく、比較的元気な高齢者についてもボランティアや趣味を活かした活動など支援する側としての活躍の場を開発
- ◆ 小型家電：使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）により、リサイクル処理される小型電気電池機器
- ◆ 国営かんがい排水事業：国が行うダム、用排水路などの農業用排水施設を整備する事業
- ◆ 国営土地改良事業：土地改良法に基づき国が行うダムや水路、水田や畑などの農業生産基盤を整備する事業
- ◆ 国際チャーター便：旅行会社、航空会社などが運行する外国への臨時便、貸し切り便のこと。
- ◆ 国際理解教育：世界の諸国民が国を超えて理解し合い、互いに人間として尊敬と信頼をもって協力し、世界の平和を実現することを理念とした教育
- ◆ 国土法：国土利用計画法。重要な資源である国土を、総合的かつ計画的に利用するために必要とされる規定をおく法律
- ◆ 国民保護計画：武力攻撃事態等において、住民の避難や救援といった国民保護措置に関する要領を、国民保護法に基づき美幌町が定めた計画
- ◆ こころの健康：自分の感情に気づいて表現できること（情緒的健康）、状況に応じて適切に考え、現実的な問題解決ができること（知的健康）、他人や社会と建設的でよい関係を築けること（社会的健康）を意味している。人生の目的や意義を見出し、主体的に人生を選択すること（人間的健康）も大切な要素であり、こころの健康は「生活の質」に大きく影響する。
- ◆ 子育てサポートボランティア：子育て支援センターで、センター活動や年間行事等において託児のお手伝いや子ども達と一緒に活動していただく方
- ◆ 固定資産台帳整備：公共施設等総合管理計画の策定に関連して、市町村が所有する土地、建物、機械などの固定資産を管理するための帳簿を整備すること。
- ◆ 子ども農業：学校農業を通して、自ら考えながら地域の生活文化など多方面にわたって理解を深めることを目的とした小学生を対象とした体験学習
- ◆ 子ども発達支援センター：発達支援の必要が認められる児童に対し、必要な指導を行うことにより当該児童の健全な育成を図ることを目的として設置された児童福祉法に基づく施設
- ◆ 子どもみまもり隊：美幌町青少年育成協議会が作成し、希望者に配布した缶バッジを着用して子どもたちに声かけを行う青少年健全育成のための啓発活動の取組
- ◆ 個別排水処理事業：農村地域等の公共下水道区域外において、水洗化を実施するため合併浄化槽を設置する事業
- ◆ ごみ処理施設：廃棄物処理法の規定に基づく、脱水、油水分離、乾燥、破砕などの処理を行う施設

- ◆ コミュニティスクール：「地域で学び、地域で育つ子どもの育成」を目的に各小学校に設置。地域の人たちの協力、支援により小学校区ごとに特色ある活動を実施
- ◆ 混乗スクールバス：児童生徒の安全な送迎を最優先に、バスの定員の範囲内で運行路線地区に居住する方が利用できる運行バス
- ◆ コントラクター事業：農作業機械と労働力などを有して、農家等から農作業を請け負う組織（コントラクター）が行う事業
- ◆ コンパクトシティ：町の中心部に住宅や公共施設、商業施設などさまざまな機能を集約し、コンパクトな規模に市街地を収める都市形態。

## さ

- ◆ 災害活動用職員貸与品：災害時に活動するための消防職員に個人貸与する装備品及び被服など
- ◆ 災害時避難行動要支援者：災害時において避難情報の入手、避難の判断又は避難行動を自ら行うことが困難な方
- ◆ 在宅医療：通院困難な患者の自宅や介護施設などに医療者が訪問して医療を行うこと。
- ◆ 再任用制度：勤務実績が良好であり、就労意欲のある定年退職者等を最長65歳まであらためて採用することができる制度
- ◆ サイバー攻撃：コンピュータやネットワークに不正に侵入してデータの詐取や破壊、改ざんなどを行なうなど標的のシステムを機能不全に陥らせること。
- ◆ 作業ヤード：作業場、施工場所
- ◆ さっぽろ美幌会：札幌市近辺在住の「美幌町ゆかりの方」で組織されている会
- ◆ 砂防ダム：土砂災害を防止するため溪流に設置され、土砂を貯めることを目的とする施設
- ◆ 三町農業推進協議会：美幌、津別、大空の三町の農業関係機関等が連携し、地域の農業の発展に寄与することを目的とする協議会

## し

- ◆ CMS：専門知識がなくてもホームページを簡単に更新できるシステム
- ◆ C o C 認証：FSC®森林認証を受けた森林の木材・林産物を加工・流通させるため、他の製品と混ざらないよう適切に管理されたものを証明する制度
- ◆ G P S：「Global Positioning System」の略。人工衛星により地球上の位置を数cm から数十m の誤差で割り出すことが可能なシステム
- ◆ J N T O（日本政府観光局）：海外からの訪日旅行者の誘致活動を行う独立行政法人の日本政府観光局
- ◆ 自衛隊協力会：O Bで組織する隊友会や父兄会、女性（夫人等）協力会など自衛隊を支援する団体
- ◆ ジェネリック医薬品：先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に、開発費用が安く抑えられる後発医薬品のこと。
- ◆ 市街共同墓地：美幌町字元町、柏ヶ丘霊園の西隣に隣接する墓地の名称
- ◆ 自主防災資機材等購入補助金：自治会で備える防災資機材に対する購入補助金
- ◆ 自主防災総合訓練：自分の地域は自分で守るため、市街地自治会を東西南北に4地域で分け、毎年10月に実施している自治会連合会の総合訓練
- ◆ 自治推進委員会：自治基本条例を守り育て、実効性を高めるために設置された委員会
- ◆ 市町村国保：市町村が運営する国民健康保険
- ◆ 実質公債費比率：一般会計等における借入金の元利償還金及び準じた経費が占める、一般財源の標準的な規模に対する割合。この比率が高まると財政の弾力性が低下したことを表す。
- ◆ 室内多目的施設：全天候型のスポーツ施設。床面が主に土や人工芝等になっているのが特徴
- ◆ 児童扶養手当：父母の離婚などで、父又は母と生計を同じくしていない子どもが育成される家庭（ひとり親家庭等）の生活の安定と自律の促進に寄与し、子どもの福祉の増進を図ることを目的として支給される手当
- ◆ し尿・浄化槽汚泥：し尿は、便所から汲み取った大小便。浄化槽汚泥は、浄化槽の沈殿分離槽や微生物で分解する槽のゴミや堆積汚泥や合併浄化槽の余剰汚泥をさす。
- ◆ 市民後見人：決められた養成講座を受講した一般町民が、家庭裁判所から選任され、本人に代わり必要な手続きや本人にとって不利益にならないようなお金の管理などを行う。
- ◆ 市民農園：農業者以外の方が、野菜の栽培や収穫を通し「農ある暮らし」を実践する中で、余暇活動の充実を図るとともに、農業に対する理解を深める目的で設置された農園
- ◆ 社会教育委員：社会教育法に基づき設置。委員は13名。教育委員会に対して社会教育に関する助言を行う役割のほか、社会教育に関する計画を立案するなどの役割を担う。
- ◆ 社会教育活動奨励員：地域における学習活動の推進者として教育委員会が任命。委員は30名。3部会にかれ、部会ごとの特色を生かした事業の企画・運営を担う。
- ◆ 社会福祉協議会（社協）：地域の高齢者や障がい者の在宅生活を支援するために、配食サービスやさまざまな福祉サービスを行っているほか、ボランティア活動に関する相談や活動先の紹介、また、小中高校における福祉教育の支援等、地域の福祉活動の拠点としての役割を果たしている組織
- ◆ 住生活基本計画：美幌町の地域特性に配慮した住宅施策の展開を示す計画
- ◆ 住宅ストック：現在も存在している既存の住宅
- ◆ 住宅リフォーム促進事業：居住環境の向上及び地域経済活性化のため、町内建設業者による住宅の改修工事を促進し、その費用の一部を補助する制度
- ◆ 集乳路線：乳業メーカーのミルクローリーが酪農家から集乳するための町道の路線
- ◆ 重要給水施設：災害時に優先して給水が必要となる、災害拠点病院、病床を持つ医療機関、規模の大きな避難所
- ◆ 取水：河川などから水を取り入れること。
- ◆ 浚渫：河川などの水深を確保するため、水底をさらって堆積した土砂などを取り除くこと。
- ◆ 障害者自立支援法：障がい者が必要とするサービスを利用し、地域で安心して暮らせるの実現を目指して平成18年10月1日施行
- ◆ 障害者総合支援法：平成25年4月1日施行。「障害者自立支援法」から移行するとともに、障がい者の定義に難病が追加された。
- ◆ 障害者相談員：心身に障がいのある方やその家族から相談を受けるため、町から委嘱された地域の相談員

- ◆障がい福祉サービス等：居宅介護や施設での介護、就労に必要な訓練、補装具費の給付など、障がい者が利用できる制度全般
- ◆小規模多機能型居宅介護施設：利用者の状況や希望に応じて、通所を中心としながら、訪問や宿泊を組み合わせたサービスを提供する施設
- ◆消費者協会：消費者が安全で安心な暮らしをおくるために、消費生活相談、暮らしの情報、価格などの調査研究などを行っている団体
- ◆常備消防：町に設置された消防本部及び消防署のことであり、専任の消防職員が勤務している。
- ◆消費生活相談員：悪質商法や契約トラブル・金融商品トラブル・製品事故などの相談に応じる相談員
- ◆消防外郭団体：主に、防災などの消防協力団体で、美幌防火協会、美幌町婦人防火クラブ、美幌地区危険物安全協会、美幌防火管理連絡協議会の4団体
- ◆消防団員：消防職員と異なり、災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ活動を行う、非常勤特別職の地方公務員
- ◆将来負担比率：一般会計等の借入金のほか将来負担すべき実質的な負債が、一般財源の標準的な規模に対する割合を表した比率。
- ◆除間伐事業：「除伐」と「間伐」をまとめた表現。除伐とは、植栽した樹木の成育を妨げる他の樹木を伐る作業。間伐とは、植栽した樹木の間引き作業
- ◆職域保健：労働者を対象とした健康づくり
- ◆食育：栄養の偏り、不規則な食事、安全性の問題や食文化の継承など、生産から消費まで一貫した「食」に関する考え方を家庭、学校、保育所、地域等を中心に育むことを国民が総合的に推進すること。
- ◆除雪計画：除雪路線、出勤基準、除雪体制、連絡体制、除雪安全作業のための実施要領などを定めた除雪作業に関する実施計画
- ◆白樺並木（通称：ロマンティック街道）：国道243号の美幌町稲美地区から古梅地区までに植栽された白樺並木
- ◆私立幼稚園2園：美幌町内の私立幼稚園である美幌大谷幼稚園、美幌藤幼稚園の2園
- ◆私立幼稚園就園奨励費補助事業：私立幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の一層の振興を図るため、私立幼稚園の入園料・保育料の一部を助成する事業
- ◆私立幼稚園振興補助事業：私立幼稚園の教職員研修費や園児の教材費の一部を助成する事業
- ◆新（再生可能）エネルギー：太陽光や風力、天然ガスといった地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が少なく、エネルギー源の多様化に貢献するエネルギー
- ◆審議会等：国や地方自治体などに付随する行政機関、または、任意に設けられる諮問機関
- ◆人権擁護委員：基本的人権の尊重と啓発のため、法務大臣から委嘱された委員
- ◆人材の登録制度：求職側では「自分のやりたいこと」や「志」、求人側では「求める年代」や「職種」などを登録することでスムーズな雇用の促進を図ろうとする制度
- ◆親水機能：水や川に触れることで水や川に対する親しみを深める機能
- ◆親水性：水や川に触れることで水や川に対する親しみを深めることができる度合い。
- ◆浸水被害：大雨により、住宅等の建物が水につかたり、水が入り込むこと。
- ◆新防衛計画の大綱：中期的な視点で日本の安全保障政策や防衛力の規模を定めた指針。概ね10年で見直しとなる。現在は25大綱、概ね10年で見直しとなる。
- ◆療養型病床：病状が安定している要介護者に、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護や機能回復訓練などの医療を行う病床のこと。
- ◆診療報酬：医療サービスの対価として支払われる報酬のこと。金額の元となるのが診療報酬点数表で、医療機関の施設基準（医療機関の機能や設備、診療体制等の評価）などで増減がある。
- ◆森林経営計画：森林所有者等が所有等する森林について自発的に作成する、5年間の具体的な施策（伐採や植林等）の計画

## す

- ◆水源涵養林<sup>かんよう</sup>：雨水を吸収して水源を保ち、河川の流量を調節するための森林
- ◆水田用水利権：用途が水田用とされている水利権（水田以外に使用できない）
- ◆水道有収率：配水量に占める料金徴収の対象となった水量の割合
- ◆スマッピーカード：美幌町オリジナルの「プリペイドカード」の名称

## せ

- ◆生活習慣病：食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群
- ◆生活福祉資金：北海道社協が行う事業で、低所得者・障がい者・高齢者や離職者を対象に他の貸付制度が利用できない場合用途に応じて貸付し、生活の安定や立て直しを図る資金
- ◆生活保護制度：生活に困窮している国民に対して、最低限の生活を保障するだけにとどまらず、さらに積極的にそれらの人々の自立の助長を図ることを目的にした制度
- ◆青少年問題協議会：法に基づき、条例により設置。委員は町長を含め12名。青少年健全育成の上位機関として総合的施策の審議や必要な関係機関との連絡調整、情報交換を行う。
- ◆セクシャルハラスメント：性的ないやがらせを意味し、一般的には略してセクハラと言われる。

## そ

- ◆総合型地域スポーツクラブ：びほろスポーツクラブBeet（ビート）のこと。誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツ活動に参加できる環境活動を目指し、H22年3月に設立
- ◆総合的な学習の時間：教科の枠を超えた学習の時間。単に知識を覚えるのではなく、自ら学び、考え、問題解決能力を身につけることを目的としている。
- ◆壮年期：成人としてもっとも体力、気力が充実しているとされる年齢
- ◆ソフト施策：市街地再生における各種調査や社会実験、民間協働事業等のソフト事業の活用

## た

- ◆ 体験型・滞留型及び滞在型観光：「体験型観光」とは地域資源を通して体験する観光形態。「滞留型観光」とは旅行先にはばらくとどまる観光形態。「滞在型観光」とは1箇所に滞在し、滞在地で静養やレジャーを楽しむこと、または、滞在地を拠点として周辺の観光を楽しむレジャー形態
- ◆ 第5旅団：北部方面隊（北海道）に所属する部隊であり、司令部を帯広駐屯地に置く。北海道道東の防衛警備、災害派遣を主任務とする。
- ◆ 第3次子どもの読書活動推進計画：子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、読書に親しみ、読書習慣を身に付けるための計画
- ◆ 第3次男女共同参画基本計画：男女共同参画社会基本法に定められた法定基本計画で、政府が策定し、ほぼ5年毎に見直しされている。
- ◆ 第10次美幌町交通安全計画：交通事故のない社会を目指して、人や交通環境に係る安全対策を推進する計画。
- ◆ 耐震診断：旧耐震基準で建築され、耐震性能を保有していない建物を、現行の構造基準（耐震基準）で耐震性の有無を診断するもの。
- ◆ 第2次財政運営計画：平成25年度から平成34年度までの10年間の中長期的な財政見通しのもと、財政健全化への取組強化を図るための計画
- ◆ 第2次美幌町地域福祉計画：「すべての人々がたがいに助け合い温かに暮らせるまちへ」を基本理念に、れもが安心して生活できる地域社会づくりを目指して第1次計画がH21に策定され、平成26年度第2次計画が策定されたもの。
- ◆ 第101特科大隊（101特科）：北千歳駐屯地に所在する第1特科群に所属する部隊であり、美幌駐屯地に駐屯する部隊
- ◆ 太陽光発電システム設置モニター事業：新エネルギーの普及促進を図り、地球温暖化の防止に寄与することを目的に、太陽光エネルギーを利用した住宅用太陽光発電システムを設置する方に対してモニター調査を委託する事業
- ◆ 第4期美幌町障がい者福祉計画：障害者総合支援法に基づき、障がい者が自立した日常生活を営むことができるように障害福祉サービスなどが計画的に提供されるための方針
- ◆ 第6普通科連隊（6普連）：第5旅団に所属する部隊であり、美幌駐屯地に駐屯する部隊
- ◆ 宅配移動便利サービス：買い物代行して宅配するサービス、香典の持参代行などの便利サービス、パンなどの販売を行う移動販売サービスのこと
- ◆ たすけあいチーム：自治会単位で組織された地域支援チームで、地域の中で孤立することなく安心して生活できるよう、除雪支援や会食会など、支え合い・たすけあう活動を展開
- ◆ 多面的機能支払事業：農業・農村の、洪水や土砂崩れの防止、自然環境の保全、美しい風景の形成などの様々な多面的働きを維持するため、農業用施設等の維持管理作業と、環境保全活動を地域共同で行う事業
- ◆ 団塊の世代：1947年（昭和22年）～1949年（昭和24年）に生まれた第一次ベビーブーム世代
- ◆ 田んぼの学校：田植えから収穫までを通し、田んぼの果たす役割や水路の仕組みを学ぶ小学生までを対象とした体験学習

## ち

- ◆ 地域安全パトロール隊リトルウイング：青少年育成協議会、民生児童委員協議会、警察署少年補導員、護老子及び青少年育成センターで組織し、連携して主に声かけ運動や巡視活動を行う。
- ◆ 地域医療連携室：地域の医療機関や介護施設等との連絡調整窓口となり、より良い医療環境を構築することを目的にした部署
- ◆ 地域高規格道路：高規格幹線道路を補完し、地域の自立的発展や地域間の連携を支える自動車専用道路
- ◆ 地域公共交通総合連携計画：法に基づいて、市町村が地域公共交通の活性化及び再生を総合的かつ一体的に推進するために作成する計画
- ◆ 地域資源：特定の地域に存在する特徴的なもので、活用可能な物の総称。農林水産物や観光資源といった自然資源だけでなく、人的なものや文化的なものも含まれる。
- ◆ 地域生活支援事業：地域生活支援センター、日中一時支援、移動支援、日常生活用具費給付など、町が実施する事業
- ◆ 地域中小企業支援ネットワーク：地域の中小企業に対し、地域の特性に応じて、きめ細やかに経営改善や事業再生の支援を実施するため、地元金融機関や商工団体等の関係機関との一層緊密な連携を図るために構築されている組織
- ◆ 地域文化伝承者：地域に伝わる文化・歴史・伝統等を記憶し伝えることのできる個人やグループ
- ◆ 地域包括ケアシステム：高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制
- ◆ 地域包括支援センター：町民のみなさんが住み慣れた町で安心して暮らすことが出来るよう、さまざまな相談を受け、必要な支援につなげるお手伝いを行うために市町村内に置かれている「総合相談機関」
- ◆ 地域見守り活動連携協定：地域の中で孤立死の恐れのある世帯等について、日頃から各家庭を訪問するライフライン事業者等による「見守り活動」を行っていただき、警察・消防・行政へ適切な支援につなげることにより、地域が安心して暮らすことができる体制作りを図ることを目的とする協定
- ◆ 地域サポーター制度：平成20年から町職員が“地域サポート職員”として自治会連合会と協働しながら課題解決をする制度
- ◆ 地球温暖化：人間活動の拡大で、二酸化炭素・メタン・亜鉛化窒素などの温室効果ガスの濃度が増加することで、地球の表面温度が上昇すること。
- ◆ 治山施設：山地の荒廃を復旧や、山地の荒廃を未然に防ぐために設置される人工的な施設や構造物
- ◆ 地籍数値情報化事業：市町村が実施した地籍調査終了後の土地の所有者等の情報や境界点等の情報を電磁化（コンピュータ化）する事業
- ◆ 地籍調査：市町村が主体となり、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し境界の位置と面積を測量する調査
- ◆ 地方公会計：現金収支を表す従来の会計に対して、現金収支のほか、資産や負債の状況を示す新たな公会計
- ◆ 地方交付税：どの地域においても一定の行政サービスを提供できるよう国から市町村に対して交付される交付税
- ◆ 中期防衛力整備計画：防衛計画の大綱に基づき、防衛力の整備、維持及び運用などを具体的に定めた計画
- ◆ 中小企業大学校旭川校：全国に9校ある中小企業大学校の一つとして、独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部（略称：中小機構北海道本部）の管轄下にあり、北海道の中小企業を人材育成面から支援する研究機関

## マニフェスト

- ◆ 中小企業融資：中小企業の事業活動に必要な「運転資金」や「設備資金」など、資金の円滑化と正常化をためるための低利子融資制度
- ◆ 中心市街地活性化基本計画：中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に進ずるために策定した計画
- ◆ 超高齢社会：65歳以上の高齢者の占める割合が全人口の概ね21%を超えた社会
- ◆ 鳥獣被害対策実施隊員：鳥獣被害防止特措法に基づき、市町村の被害防止計画に基づく鳥獣の捕獲や防護柵の設置など実践的活動を担う隊員に任命された者
- ◆ 長寿命化：適切に維持管理を行い、建物を長持ちさせること。
- ◆ 調停（・人権擁護）委員：調停委員は、豊富な知識経験や専門的な知識を持つ一般市民の中から選ばれ民事調停や家事調停などを行う。
- ◆ 町道整備計画（中期的計画）：5年を単位に最新の道路の需要推計などを基礎に策定する町道整備計画
- ◆ ちょっと暮らし：「移住」を促すことを目的に、地域での日常生活を体験してもらうこと。

### つ

- ◆ 通学路の安全プログラム：「美幌町通学路交通安全プログラム」美幌町通学路安全推進協議会（教育委員会・学校・PTA・警察・道路管理者）が合同点検を実施して策定した交通安全上必要な対策を定めた基本方針
- ◆ 通年開設の保育園2箇所：美幌保育園と東陽保育園

### て

- ◆ 定住自立圏構想：「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の魅力を活用し連携・協力して、地域住民の暮らしを圏域全体で確保し、地方の人口定住を促進する政策
- ◆ 低炭素地域づくり：地域資源を活かした新エネルギーの地産地消を図るとともに、地域の方々が省エネルギーの実施や新エネルギーを積極的に導入することで、「資源等の域内循環」や「産業の育成」など、様々な側面から地域の活性化を図ること。
- ◆ データセンターやバックアップセンター：大量のデータを安全に保管するための専用施設やそれを運営する事業
- ◆ 適量施肥：土壌成分や栽培作物に応じ、肥料成分を過不足無く適切な量の肥料を施すこと
- ◆ 電算システム：コンピュータによって継続的に成果（結果）が導かれる仕組み
- ◆ 店舗リフォーム促進支援事業：店舗リフォーム補助制度などにより、店舗リフォームの促進を支援する事業
- ◆ 店舗リフォーム補助制度：店舗のイメージアップと商店街の活性化を図るとともに、商工業の振興を促進し地元経済の活性化を図ることを目的に、本町において平成27年度に創設された補助制度。店舗リフォームに要する経費の一部を助成

### と

- ◆ 東京美幌会：東京近辺在住の「美幌町ゆかりの方」で組織されている会
- ◆ 峠の湯びほろ：「旧都橋小学校跡地」において整備された「日帰り温浴施設」。平成8年12月にオープン。
- ◆ 統合機動防衛力：陸海空3自衛隊の統合運用を重視し、機動的に部隊を展開することにより防衛力をより強靱にすることが可能
- ◆ 導水管、送水管、配水管：導水管とは、水源から浄水場まで水を送る管。送水管とは、浄水場から配水池まで水を送る管。配水管とは配水池から市街地まで水を送る管
- ◆ 道道嘉多山美幌線：網走市から大空町を経由して美幌町を結ぶ道道248号。
- ◆ 道道北見端野美幌線：北見市から端野を経由してから、美幌町に至る道道122号。
- ◆ 道東5空港利用促進協議会：「ひがし北海道」エリアにある5空港（紋別・女満別・中標津・釧路・帯広）の関係機関で組織されている協議会で、5空港の利用を促進することにより「ひがし北海道」観光の推進、地域経済の活性化を図ることを目的としている。
- ◆ 灯油集中供給設備：灯油を各住戸に自動供給する設備
- ◆ 道立教育研究所：北海道が設置する教職員の研修並びに教育に関する研究を実施する機関
- ◆ 道路狭隘：道幅が狭く車両通行のゆとりが少ない道路
- ◆ 道路ストック点検：道路ストックとは、トンネル・橋梁・照明灯など道路構造物をいい、その損傷状態を把握するための点検を実施し、危険性の有無を判定し、長寿化計画などを作成する。
- ◆ 道路附帯施設：ガードレール、ガードパイプ、カーブミラー、道路照明、白線などの安全施設、案内標識、警戒標識などの標識施設及び植樹帯施設
- ◆ 特殊詐欺等：「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証金詐欺」「還付金詐欺」などの『振り込め詐欺』と、それに類似する手口の詐欺の総称
- ◆ 特定健康診査（特定健診）：糖尿病や高脂血症、高尿酸血症などの生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査
- ◆ 特定保健指導：特定健康診査の結果、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対する指導、リスクの程度に応じて、動機付け支援と積極的支援がある。
- ◆ 特別保育：保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育又は保護者の疾病や家族の疾病による付き添い等緊急時の一時的な保育を必要とする児童に対して実施する一時預かりや心身に障がいのある児童を健常児との集団保育により共に育ち合い、障がい児の福祉の増進を図るための障がい児保育
- ◆ 特別支援教育：障がいのある児童生徒に対して、その1人1人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服できるよう、必要な支援を行う教育
- ◆ 都市計画区域：都市計画法により都市施設計画や土地利用の規制の対象とされる区域

- ◆都市計画決定公園：都市計画法では、国、都道府県及び市町村が都市計画の内容や影響の範囲に応じて適切な役割分担のもとに都市計画を決定した公園で、23ヶ所が都市計画決定公園
- ◆都市計画マスタープラン：長期的視点にたった都市の将来像を明確にし、その実現にむけての大きな道筋を明らかにする基本計画
- ◆図書館ボランティア：町民に開かれた図書館を進めるため、図書館運営に関わる事業支援の他、廃本のシール貼り、絵本の清拭、図書館フェスティバルなどの事業支援を行う方。
- ◆図書管理システム：本のデータや、貸出、返却、予約、保存等ICチップにより一元管理できる電算システム
- ◆ドメスティックバイオレンス（DV）：同居関係にある配偶者や元夫婦・恋人等の間で起こる暴力

## な

- ◆内水排除用排水ポンプ：商業用電源及び非常用発電機を電源とする排水のための水中ポンプ
- ◆内水被害：豪雨時に堤防より住宅地側に雨水がたまって氾濫することを内水氾濫といい、これにより家屋や耕地が浸水する被害を内水被害という。
- ◆悩み心配ごと相談：毎月第2水曜日実施している調停委員と人権擁護委員による定例相談
- ◆7中5年：7年の内の5か年の平均

## に

- ◆賑わい道路：地域の特性を生かし、人が集まることで地域の活性化を目指した道路
- ◆にぎわいの駅整備：「にぎわいのある魅力的な商店街」を構築するために、「道の駅」に代表されるような集客施設を街なかに整備（建設）すること。
- ◆にじみ出し：都市計画的土地利用において、市街地外の規制の無い地域に住宅等が拡散すること。
- ◆日常生活自立支援事業：北海道社協から美幌町社協へ委託されている事業で、地域の判断能力が低下した高齢者や障がい者が自立して生活ができるよう福祉サービスや金銭管理を行う事業
- ◆2B型救急自動車：「2ベッド救急自動車」のこと。標準救急自動車
- ◆認知症サポーター：認知症とはどういうものか、その症状や予防、認知症の方に接する時の心構えなどについてを内容とする認知症サポーター養成講座を受講・修了した者を称する名称
- ◆認知症予防ボランティア：認知症予防を推進するボランティア団体など町民の自主的な活動で、美幌町では、認知症予防運動などを行うやまびこの会や、家族支援も含めた活動を行うサフランの会などがある。

## の

- ◆農業改良普及センター：地域の農業者への技術指導や経営相談、各種講習会の開催や新規就農者への支援活動を行う都道府県の機関
- ◆農業振興地域整備計画：都道府県知事により農業振興地域に指定された市町村が、おおむね10年を見通して、地域の農業振興を図るために必要な事項を定めたもの。
- ◆農業生産活動環境対策事業：農業の持続的発展のため、農業生産における地球温暖化対策や有機農業の拡大、施肥の低減など、環境と調和した農業生産を推進する事業
- ◆農業生産基盤整備：農業の生産性を高め農業経営の安定を図るため、農地や用排水施設設備など農業の持続的発展を支える基盤の整備
- ◆農業生産工程管理（GAP）：農業生産活動を行う上で、必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動
- ◆農業生産法人：農地や採草放牧地を利用して農業経営を行うことのできる株式会社などの法人
- ◆農業担い手対策協議会：農業の担い手の育成・確保や農業後継者の配偶者対策を行うために、町内の各関係機関によって構成された協議会
- ◆農業用廃プラ：ビニールハウスなどの資材として使用されたものや肥料の空容器など、農業分野から排出されるプラスチック廃棄物
- ◆農地中間管理事業：都道府県から指定された組織が農地の所有者と借り手を仲介し、農地の集積と集約化を加速し、農業生産性の向上を図る事業
- ◆農地保有合理化事業：離農農家等から農地を買入れ又は借入れ、規模拡大を図る農業者に対して農地の売渡し又は貸付けを行う事業
- ◆農地流動化対策：農地を集めて経営規模を拡大し生産性を高めるよう、農地の売買や貸し借りを促す対策
- ◆乗合タクシー：農村方面に住む65歳以上及び身体に障がいのある方を、タクシーで無料代替運行する。一人1カ月に6枚の無料代替券を町で交付するが、有償で回数券も購入できる。

## は

- ◆パートナー対策：農業後継者の配偶者対策として、交流会等を企画し出会いの場を提供する事業
- ◆ハイブリッド車：ガソリンで動くエンジンと電気でも動くモーターの2つの動力を持っている自動車
- ◆白地地域：土地利用規制や行為規制などの規制の全くない地域のこと。都市計画区域内においては、用途地域指定のない土地をさす。
- ◆畑地かんがい用水：農作物が水を必要としているときに必要な分だけ、畑に散水するための農業用水
- ◆バリアフリー：障がい者を含む高齢者等の社会的弱者が、社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障害や、精神的な障壁を取り除くための施策、若しくは具体的に障害を取り除いた事物および状態
- ◆汎用田用水：麦・大豆等の収量の増大や作付面積の拡大、品質の向上を図るため汎用化した水田用の農業用水



## ひ

- ◆ PDCAサイクル：Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返し、業務を継続的に改善する手法
- ◆ 光ファイバー：データ伝送速度の速さ、一度に伝送できるデータ量の大きさに優れた通信回線
- ◆ 非社会的問題行動：他人に迷惑を及ぼすことはないが、健全な成長からみて、その正常な発達を妨げる、極度の引きこもり、集団からの孤立、怠学や家出などの行為。
- ◆ 避難行動要支援者名簿：災害発生時に自力では避難できなく、安否確認や避難時の手助けが必要となる方について、事前にその支援内容等を登録しておく名簿のことで、災害発生時には自治会など地域の方々方が協力・連携して支援する。
- ◆ 美幌・大空・津別地域産業活性化基本計画：美幌町・大空町・津別町の地域において、産業のさらなる集積・高度化に向けて策定した計画のこと。地域の強みを活かした産業の創出・育成を図ることを目的としている。
- ◆ 美幌・津別広域事務組合：美幌町と津別町で消防及び火葬場業務を共同で運営している地方公共団体
- ◆ 美幌町自治基本条例：町民が主役として、まちづくりの理念やルールを定めたもの
- ◆ びほろ男女共同参画プラン：女性の地位・福祉の向上と社会参画を推進して、地域づくりに寄与するためのプラン
- ◆ 美幌地方自衛隊協会の自衛隊の激励並びに後援等に努めるとともに、自衛隊の健全な育成・発展に寄与する団体。隊区内2市8町の首長・議長等で構成
- ◆ 美幌駐屯部隊充実整備期成会：陸上自衛隊美幌駐屯部隊の存置及び充実を図る団体。諸団体等の代表者をもって構成
- ◆ 美幌町一般廃棄物処理基本計画：美幌町の一般廃棄物の処理における基本計画
- ◆ 美幌町観光振興革新戦略ビジョン：第2次美幌町観光振興計画のこと。「選択」と「集中」により、実践的な戦略を計画し、新しい観光振興を考えていこうとするもの。
- ◆ 美幌町芸術文化振興事業補助金：芸術鑑賞あるいは指導者しょうがいによる直接指導など、芸術文化の振興を目的とする公演等に対し、申請により町内の団体や実行委員会に交付する補助金
- ◆ 美幌町健康増進計画：健康を維持しながら長生きを楽しむ健康づくりの推進をめざし、ライフステージ別に栄養・運動・歯科保健・喫煙・メンタルヘルスなど項目毎の目標を定め、個人や家族、地域、職場、行政が取り組む計画
- ◆ 美幌町子ども・子育て支援事業計画：質の高い幼児期の学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供を図るために策定する、子ども・子育て支援法に基づく事業計画
- ◆ 美幌町指定文化財：美幌町文化財保護条例に基づき、平成11年に指定を受けた4件の文化財（美幌小学校かしの木、ペニバナヤマシャクヤク自生地、絵巻模様付磗、瑞治足柄奴）
- ◆ 美幌町障害者自立支援協議会：障害者総合支援法に基づき、障がい者の生活を支えるためのシステムづくりに関し、関係機関と連絡調整を行うために設置
- ◆ 美幌町水道ビジョン：美幌町水道事業の10年後の将来像を目標設定とし、平成21年2月に策定した水道事業基本計画
- ◆ 美幌町青少年育成協議会：町内の約50の団体が組織。青少年のたくましい健やかな成長を願い、青少年の健全育成・非行防止と、町民総ぐるみ運動を推進
- ◆ 美幌町青少年育成センター：教育委員会が設置し、青少年育成指導員を中心に学校・家庭・地域と連携して、巡視活動や啓発活動を実施する青少年健全育成の中心施設
- ◆ 美幌町地域新エネルギービジョン：美幌町としての、今後の新エネルギー導入のガイドラインとして策定されたもの。
- ◆ 美幌町地域防災計画：美幌町において防災のために処理すべき業務などを、災害対策基本法に基づき美幌町防災会議が定めた計画
- ◆ 美幌町特産品認証制度：美幌町の農作物などの地域資源を活かした「特産品」開発の推進を目的に、一定のルール化により特産品として認証しようとする制度
- ◆ 美幌町まちづくり活動奨励事業補助金：自治会や団体等が、地域の課題や活性化に向けて自ら企画し自主的に取り組む活動への補助金
- ◆ 美幌版総合戦略：人口減少に歯止めをかけ、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的として制定された「まち・ひと・しごと創生法」において、策定に努めることとされた美幌版の総合戦略
- ◆ 樋門：堤防を横切ってつくられた水を導く水路で、通常は住宅地側の排水や洪水の時には河川から水路への逆流を防ぐためのゲートが設置された施設
- ◆ 病院改革プラン：公立病院が地域において果たすべき役割を明確にするとともに、適切な財政負担のもと経営を健全化し、その役割を継続的に果たしていくために策定する計画
- ◆ 病床稼働率：病院のベッドがどの程度効率的に稼働しているかを示す数字。その数字が高いほど空きベッドが少なく、効率的に利用されていることになる。
- ◆ 病診・病病連携：病診連携とは、病院と診療所が連携して医療を提供する仕組み。病病連携とは、病院と病院が連携をとる仕組み。
- ◆ ヒリ砂利：焼き砂。路面の滑り止め用の粒径のあらい砂

## ふ

- ◆ ファイリングシステム：公文書を従来の簿冊に綴じるのではなく、個別フォルダで収納・管理し、専用のキャビネットにて保管するもの。文書の私物化を防ぎ、目的の文書を速やかに探し出すことが可能となる。
- ◆ ファイルサーバー：自身の管理している記憶装置をネットワーク上の他のコンピュータと共有し、外部から利用できるようにするコンピュータ
- ◆ プチ工房：毎月第2・3木曜日に毎回テーマを設け、指定の時間内で来館者が自分の都合に合わせて、自由に工作を行う事業
- ◆ ブックスタート事業：10ヶ月の乳幼児検診時に、保護者へ絵本を手渡し、乳幼児期からの読み聞かせの大切さや方法を伝える事業として、平成16年度から実施している事業

- ◆ブックセカンド事業：小学校入学時に、絵本をプレゼントすることにより、子どもの読書活動推進を図るため、平成24年度から実施している事業
- ◆フラワーマスター：花の育成管理や街並み景觀に配慮した植花に関する知識・技術を持ち、花のまちづくりのボランティアリーダーとして積極的に指導・助言できる人
- ◆不陸ふりく：水たまりになるへこみや盛り上がりなど
- ◆ふるさと教育：児童生徒が郷土の自然や人間、社会、文化、産業等と触れ合う機会を充実させ、ふるさとのよさの発見、ふるさとへの愛着心の醸成、ふるさとに生きる意欲の喚起を目指すもの。
- ◆ふるさとづくり事業：基金を活用して、まちづくり活動に資する事業を行うことで、活力あるまちづくりを推進する。
- ◆ふるさと納税：任意の自治体に寄附し寄附額のほぼ全額が税額控除される制度で「ふるさと寄附金」とも言う。多くの自治体で謝礼品を出す。
- ◆プレミアムチャージ事業：プリペイドカード（スマッピーカード）に一定の金額をチャージすると、プレミアム商品券が付くという事業
- ◆プロモーション：消費者の購買意欲を喚起すること。
- ◆文化連盟主管事業：芸術文化鑑賞事業等で、文化連盟が中心となって実行委員会を組織し、企画、運営を行う事業

## へ

- ◆ヘルスリーダー：町が実施するヘルスリーダー養成講座を受講し、自らの健康に関心を持ち、健康的な生活習慣を実践するとともに地域における健康づくりのリーダーとして主体的に取り組む町民
- ◆ベレットストーブ：間伐材や製材端材その他の木材を粉碎した木くずを乾燥し圧縮成型した円柱型の固形燃料のベレットを使用し、化石燃料に替わり二酸化炭素の排出量削減を目指した地球環境にやさしい暖房器具
- ◆辺長・地籍更正：辺長は、土地の境界の辺の長さ。地籍更正は、土地登記面積の変更及び修正のこと。

## ほ

- ◆防疫体制：家畜の伝染病を「持ち込まない」「持ち出さない」よう、農場を出入りする車両の消毒や、人の立入を制限する体制
- ◆防災リーダー：自主防災組織の推進のため、自治会で家庭の防災や救護訓練を消防署で受講し、知識や技能を体得した方
- ◆暴走運動：「暴力追放運動」を略したもの。
- ◆防犯活動団体：ここでは美幌町自治会連合会防犯部会、美幌町防犯協会及び美幌町暴力追放推進協議会を指す。
- ◆保健医療関係団体：救急搬送に対応する救急医療や休日の急病患者への医療を担う病院・診療所、周辺地域への訪問看護を行う事業所等地域保健医療関係機関及び団体
- ◆保健福祉総合センター：町民の健康と生きがいつくりの活動拠点及び福祉サービスの総合的かつ効果的な提供拠点として機能する施設
- ◆母子寡婦福祉資金かみかみ：母子家庭、父子家庭、寡婦の経済的自立を助け、扶養している児童（子）の福祉を増進することを目的として貸し出される貸付金
- ◆北海道横断自動車道北見・網走間建設促進期成会：北海道横断自動車道の北見・網走間建設促進を図り早期着手に向けた要望活動をするための市、町で構成された団体
- ◆北海道東京事務所：首都圏における北海道の総合窓口。道政の推進に欠かすことのできない情報についていち早く収集・発信するという「首都圏における最前線の情報発信基地」としての役割を担っている。
- ◆保養施設：災害派遣や国際平和協力活動派遣後の隊員のメンタルヘルスやカウンセリングを受けられる施設
- ◆ボランティアセンター：社会福祉協議会の中にある組織で、ボランティア情報の収集と発信、コーディネート業務、ボランティアに関する教育・研修を行う機関

## ま

- ◆間口除雪：高齢者の方や障がいのある方が、通院や買物などの外出時に支障となる、道路に面した出入口部分（間口）の雪を除雪する事業
- ◆まち育出前講座：町民要望に応じた場所に出向き、町政情報を提供して町民参加と情報共有を行う。
- ◆まちなみ環境の向上：住環境の整備改善を必要とする区域において、地方公共団体及び街づくり協定を結んだ住民が協力して、住宅、地区施設等の整備改善を行うことにより、ゆとりとうるおいのある住宅地区を形成する。
- ◆マナビティーセンター：町民の地域活動や趣味・教養・文化の学習実践活動及びレクリエーションの場。サークルや各種団体の日常活動・研修等のほか各種講座・教室も開催

## み

- ◆みどり就労センター：高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する団体で、定年退職者などの高齢者が、臨時的かつ短期的又は特別な知識・技能を活かした軽易な就業を提供
- ◆緑の基本計画：都市公園の整備方針、そして特別緑地保全地区の緑地の保全や、緑化地域における緑化の推進に関する事項など、都市計画制度に基づく施策と、公共公益施設の緑化、緑地協定、住民参加による緑化活動等都市計画制度によらない施策や取り組みを体系的に位置付けた緑のオープンスペースに関する総合的な計画
- ◆みどりの村：本町の農林業、生活文化、自然に対する認識を深め、地域住民及び都市生活者等に自然環境を活用した体験学習及び健全な余暇、野外活動を普及推進すると共に保健休養の場としての利用を促進し、地域の振興及び福祉の向上に資するため設置された施設
- ◆みらい農業センター：農業の実践的な研修を通じ、農業経営者、担い手、新規就農者及び農業後継者の育成や農業後継者の配偶者対策、農作物の品種、品質、施肥改善策の実証及び展示、高収益性のある新規作物の栽培実証試験による調査・研究をする町の施設
- ◆民間活力：民間事業者による整備とサービス提供
- ◆民間保育所1箇所：特定非営利活動法人ひまわり保育園

## め

- ◆ 女満別空港国際チャーター便誘致協議会：女満別空港に国際チャーター便を誘致し、地域経済及び観光産業の活性化を図ることを目的とした北網圏の市町及び関係機関で組織されている協議会
- ◆ 女満別空港整備・利用促進協議会：女満別空港の整備拡充及び利用促進を図り、地域経済及び観光産業の活性化を図ることを目的とした女満別空港周辺市町及び関係機関で組織されている協議会

## も

- ◆ 木質バイオマス：バイオマスとは再生可能な生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）のことで、ここでは、木の伐採や造材の際に発生する伐根、枝葉、端材などのこと。

## ゆ

- ◆ 有害ごみ：人体に有害な水銀、亜鉛などを含む電池、蛍光灯（蛍光管）などの廃棄物
- ◆ 有害鳥獣：エゾシカ、ヒグマ、カラス等、人や農作物、家畜などに被害を与える鳥獣。
- ◆ 友好姉妹都市ケンブリッジ：ニュージーランドのワイバ地区にある町で、1997年（平成9年）10月12日に友好姉妹都市の提携調印。
- ◆ ユニバーサルデザイン：年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。

## よ

- ◆ 要介護者：身体または精神の障害のために、入浴・排せつ・食事など日常生活での基本動作について、継続して常時介護を要すると介護保険法に基づき認定された者で要支援1・2の要支援者、要介護1～5の要介護者に区分される。
- ◆ 用途地域：住居、商業、工業など市街地の大枠としての土地利用を定めるもので、一般的には12種類あるが、本町は10種類で指定。用途地域が指定されると、それぞれの用途に応じて、建てられる建物の種類が決められる。
- ◆ 要保護児童対策地域協議会：要保護児童の早期発見や適切な保護を図るため、行政、児童福祉、保健医療、教育、警察等関係機関が連携・協力し被虐待など要保護児童やその保護者に関する情報交換や支援内容の協議を行うための協議会
- ◆ 4つの商店街：新町地区の「ゆうゆう商店街」、仲町地区の「美幌中央商店会」、北2～4丁目地区の「びほろ生き活き商店街」、北1丁目地区の「美幌町大通北1丁目商店街」
- ◆ 予防医療：生活習慣の改善や予防接種などによって病気になるのを防ぐだけでなく、たとえ病気になっても早期に発見・治療して重症化を防ぎ、さらにはリハビリテーションなどにより病気からの回復を早め、再発を防ぐこと。

## ら

- ◆ ライフサイクルコスト：製品や構造物を製造して廃棄するまでにかかるすべての費用
- ◆ ライフステージ：幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期といった、年齢にともなって変化する生活段階。
- ◆ ライフライン：日常生活を送る上で必須の諸設備を指す。電気・ガス・水道・通信・交通など。
- ◆ 酪農ヘルパー事業：酪農家が休みをとる際に、酪農家に代わって搾乳などの仕事に従事する人を派遣する事業

## り

- ◆ リエゾン：災害対策現地情報連絡員。災害対策本部が設置された際に、情報収集、連絡要員として町に派遣される隊員
- ◆ リサイクル推進ボランティア指導員制度：ごみ減量化に向けたリサイクルを推進するため、ボランティアの指導員の養成を目指していくこと
- ◆ 利子等補給補助：中小企業融資を受けた方に対し、信用保証料及び利子の一部を補給する補助制度
- ◆ 量水器収納筐設置しょうすいそう：水道使用量を測定するメーター器を収める円形の筒で、土を掘り返すことなくメーター器の交換が可能となる。
- ◆ 緑肥作物：栽培している植物を収穫せずそのまま田畑に混ぜ込み、土壌を肥沃化するための作物
- ◆ 緑化・花いっぱい運動：木・花を植えることによって景観を良くしようとする取組
- ◆ 輪作体系：地力の維持と病虫害をさけるため、同じ畑に性質の異なる作物を周期的に栽培する農業体系

## ろ

- ◆ 老人クラブ：各自治会単位などで高齢者を会員とし、高齢者自身による企画・運営で無理せず、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくりなどの活動を行う場
- ◆ 労働団体等：労働環境の向上などに取り組んでいる、労働者が組織している団体
- ◆ 6次産業化：農業や水産業などの第1次産業が、加工・販売等の第2次・第3次産業にも業務展開する「経営の多角化」

## わ

- ◆ Wi-Fi整備：インターネットを無線で利用できる環境を整備すること。

# 美幌町 総合計画

発行/美幌町

〒092-8650 北海道網走郡美幌町字東2条北2丁目25番地  
TEL : (0152) 73-1111 FAX : (0152) 72-4869

発行日/平成28年6月

編集/美幌町総務部まちづくりグループ